

ふいさとのうた

剣淵文化協会俳句部会



挽き立てのむらさき匂ふ秋茄子

南桜町 宮腰 幸子

新涼やひなの重さを忘れけり

西町 岸波 君江

たわむれの刻惜しみつ秋の蝶

西町 金澤 頼子

やさしやな稲穂の頭こぶ五十五度

西町 杉浦 とし枝

静寂なる天の華かな星月夜

元町 印牧 安子

人生を刻んだ句碑と秋の庭

藤本町 鈴木 ゆき子

仲よしもみなちりぢりに萩の花

緑町 池田 良子

マクかけ自愛の余生秋近し

仲町 坂部 和子

秋彼岸夜鍋の餡の跳ねる音

西岡町 高瀬 久美子

立ち止まって振り返って良夜かな

仲町 玉野 研一

髪切つて小さな秋の旅に出る

元町 西崎 弘子

また一つ物を忘れてくずの花

東町 高橋 世津子

鳥帰る大口あけて齒科の椅子

西岡町 渋谷 みさ子

振り向きて朝顔数える通学児

仲町 梅基 文子

歩き始む児と母の影秋つらら

西町 文梨 清子

その昔とんぼの群と青い空

西原町 児玉 久美子

秋つらら少しお洒落イヤリング

旭町 大河 博子

八弁は微風に忠実秋とくら

仲町 芳賀 星子